地域経済を支えるパートナーとして

2003年6月13日に地元中小企業、大阪府立大学（※2022年4月に大阪市立大学と統合し大阪公立大学へ改称）、㈱さかい新事業創造センター（堺市のビジネス・インキュベーション）と連携し、「だいしん産学連携共創機構」を創設しました。当金庫が大阪公立大学へ常駐派遣している「産学官連携コーディネーター」は、大学とのスムーズな橋渡しにより、数多くの課題解決や新商品開発に貢献しています。

2019年5月27日には創業100周年記念事業の一環として大阪工業大学と包括産学連携協定を締結し、「産学官連携コーディネーター」を新たに常駐派遣しており、同大学の強みである「知的財産」や「デザイン」の分野においても課題解決に繋がるソリューションを提供することが可能となっています。

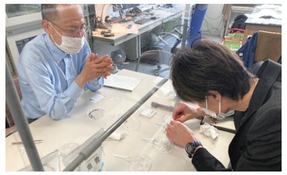
また、これまで産学官連携コーディネーターを担当した8名の職員は専門的な課題にも対応できるスキルを有し、レベルの高い事業性評価のできる人材となっています。近年は、地方独立行政法人大阪産業技術研究所や大阪府立環境農林水産総合研究所との連携が始まり、専門的なスキルの幅が広がっています。

産学官連携を利用した事例のご紹介

■「大阪公立大学」と学術指導契約締結

A社は美容室を経営していますが、毎日髪の毛を廃棄し焼却処分するため、大量の二酸化炭素を排出していることに問題意識を持ち、対処する方法を考えていました。

そこで、大阪公立大学農学部の教授に相談した結果、「ミミズを使用した髪の毛の堆肥化」について検討する事となり、学術指導契約を締結することとなりました。


酸を使用した溶解実験を行う様子

■「大阪工業大学」へ生産性向上に向けた相談

B社は、各種金属の切削・研磨加工を行っていますが、近年の働き方改革や人材不足などの影響から生産性の向上は喫緊の課題となっています。

現場改善に知見がある大阪工業大学の教授に相談し、学術指導契約を通じた実効性あるアドバイスを受けながら、自律的な生産性の向上を目指しています。

現場改善の様子

■「摂南大学」へ新製品の効果検証に関する相談

C社は金属プレス加工業を営んでいますが、自社製品としてコロナ対策用の殺菌装置を開発し、販売しています。この製品の性能を消費者にわかりやすく伝える方法について、摂南大学の教授に相談したところ、吸収性の可視化を行うことに成功し、この研究結果を販売強化に繋げています。

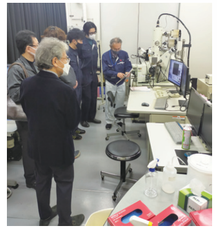
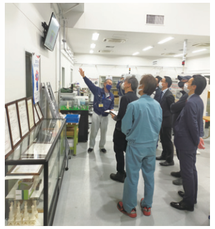
新製品 エア・ナヘレ

「ラボツアー」の開催

当金庫では、大阪産業技術研究所（以下、「大阪技術研」という。）ならびに大阪府立環境農林水産総合研究所（以下、「環農水研」という。）と包括連携協定を締結し、取引先中小企業向け「ラボツアー」を定期的に開催しています。

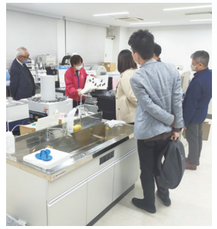
地方独立行政法人大阪産業技術研究所

■「大阪技術研ラボツアー」開催の様子

大阪府立環境農林水産総合研究所

■「環農水研ラボツアー」開催の様子



■「環農水研」へ農福連携事業開始に向け相談

D社は、訪問介護事業や老人ホームを運営していますが、新たな事業として就労支援事業を開始しました。近隣と違う特色を出すため農業分野への進出を計画し、環農水研のハートフル農業（障がい者、高齢者の就労や就労訓練、生きがいづくりのために行う農業や園芸作業）に関するレクチャーを受け、イチゴ農園の開業が決まりました。

イチゴ農園開業予定

◎これまでの活動実績（2023年3月末現在）

会員事業所数	989先				
技術相談	505件	他大学等との共同研究	3件	会員間ビジネスマッチング	225件
共同研究	32件	地方独立行政法人大阪産業技術研究所 大阪府立環境農林水産総合研究所の紹介	302件	他大学等への技術相談	41件
奨励寄付研究	34件	大阪公立大学と顧問契約	9件		